



2020年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年3月31日

上場会社名 日本エンタープライズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4829 URL http://www.nihon-e.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田勝典
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田中勝 TEL 03-5774-5730
 四半期報告書提出予定日 2020年4月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第3四半期の連結業績（2019年6月1日～2020年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第3四半期	2,619	8.9	192	145.0	233	82.4	153	423.1
2019年5月期第3四半期	2,406	△19.5	78	6.2	127	△10.1	29	△55.8

(注) 包括利益 2020年5月期第3四半期 176百万円 (349.9%) 2019年5月期第3四半期 39百万円 (△65.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第3四半期	3.81	—
2019年5月期第3四半期	0.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第3四半期	6,135	5,294	81.3	124.30
2019年5月期	6,035	5,213	81.4	122.48

(参考) 自己資本 2020年5月期第3四半期 4,988百万円 2019年5月期 4,915百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2020年5月期	—	0.00	—	—	—
2020年5月期（予想）	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年5月期の連結業績予想（2019年6月1日～2020年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,850	12.8	275	13.5	300	2.5	160	63.6	3.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年5月期3Q	40,133,000株	2019年5月期	40,613,000株
② 期末自己株式数	2020年5月期3Q	一株	2019年5月期	480,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年5月期3Q	40,133,000株	2019年5月期3Q	40,132,895株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）2ページ以降の「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるITサービス業界を取り巻く環境は、スマートフォンやタブレット等によるクラウドサービスの更なる浸透とともに、IoT(注1)やAI(注2)等のビジネスへの活用拡大や、企業の業務効率化に向けたRPA(注3)の普及等、今後も好調に推移していくことが予想されます。

これらの状況において、当社グループといたしましては、コンシューマ向けスマートフォンアプリ、システム開発、デバッグ、クラウド、業務効率化アプリ、モバイルキッティング、音声ソリューション、電子商取引(eコマース)などのサービスを推進し、グループの事業規模及び収益拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は26億19百万円(前年同四半期比8.9%増)、営業利益は1億92百万円(同145.0%増)、経常利益は2億33百万円(同82.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億53百万円(同423.1%増)となりました。

(注1)「Internet of Things」の略

モノをインターネットに接続して制御・認識などを行う仕組みを意味する。

(注2)「Artificial Intelligence」の略

人間の知的営みをコンピューターに行わせるための技術(いわゆる「人工知能」)を意味する。

(注3)「Robotic Process Automation」の略

認知技術を活用した業務の効率化・自動化の取組みを意味する。

各セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<クリエイション事業>

自社で保有する権利や資産を活用したサービスを提供する当事業は、一般消費者向け「コンテンツサービス」においては、通信キャリアが運営するプラットフォーム市場が縮小する中、引き続き定額制コンテンツでの効率的な運用で収益確保を図るとともに、App StoreやGoogle Playなどの通信キャリア以外が運営するプラットフォームでのコンテンツの利用を促進させた結果、ゲームを中心とするエンターテインメントコンテンツが増進いたしました。また、鮮魚eコマース『いなせり市場』において、2019年11月よりサブスクリプション型の『豊洲仲卸厳選・お楽しみ月額パック』の提供を開始した他、交通情報コンテンツ『ATIS交通情報』において、2019年12月よりドライブレコーダーサービスの提供を開始し、拡販に努めてまいりました。

法人向け「ビジネスサポートサービス」においては、企業による業務効率化やクラウド活用が進む中、業務用スマートフォンアプリ、交通情報・教育・観光・調達・音声などの各種サービスの他、自社開発のサービスを活用した受託開発が堅調に推移いたしました。特に、キッティング支援においては、企業におけるスマートフォンをはじめとした端末の買い替え需要に伴い同マーケットが拡大する中、キッティングRPAツール『Kitting-One』等の支援ツールの導入を大手企業中心に促進させた結果、大きく伸長し、2018年5月期のセグメント変更以降、第3四半期累計期間において最高の売上高を更新いたしました。また、飲食事業者向け鮮魚eコマース『いなせり』においては、東京魚市場卸協同組合と連携し、出品数の増大、飲食事業者開拓に取り組んでまいりました。その他、引き続き、ブロックチェーン(注4)を活用した電力取引等の実証事業に継続して取り組んでまいりました。

以上の主な取り組みの結果、クリエイション事業の売上高は15億36百万円、セグメント利益は4億81百万円となりました。

(注4) データを「ブロック」に格納し、鎖(チェーン)のように連結して保管する、改ざんが極めて困難なデータベースを意味する。

<ソリューション事業>

法人向けシステムの受託開発・運用を主な業務とする当事業は、「システム開発・運用サービス」においては、スマートフォンアプリ及びサーバ構築の豊富なノウハウと実績が評価され、スクラッチ開発(注5)を中心としたアプリ開発、WEB構築、サーバ構築、システム運用・監視、デバッグ、ユーザーサポートなどクリエイション事業で培ったノウハウを活かした受託開発の提供を行ってまいりました。

また、深刻化している人手不足問題にマッチした業務支援サービスが伸長している他、新たな事業領域であるAI、IoT、セキュリティ関連サービスの開拓を推し進めた結果、2018年5月期のセグメント変更以降、第3四半期累計期間において最高の売上高を更新いたしました。

一方、電気通信事業法の一部改正による携帯端末と通信料金の完全分離の実施に伴い、今後拡大が見込まれる端末周辺事業を創出するべく、クリエイション事業で注力しているキッティング支援を核に、中古端末(スマートフォン等)買取販売の拡大とともに更なるビジネスモデルの構築に努めてまいりました。

以上の主な取り組みの結果、ソリューション事業の売上高は10億82百万円、セグメント利益は1億38百万円となりました。

(注5) システム開発で、特定のパッケージ製品のカスタマイズや機能追加などによらず、すべての要素を個別に最初から開発することを意味する。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して1億円増加し、61億35百万円となりました。流動資産は、主に現金及び預金の増加及び売掛金の減少により前連結会計年度末と比較して1億36百万円増加し、52億91百万円となりました。固定資産においては、主にソフトウェア、投資有価証券及び繰延税金資産の減少により前連結会計年度末と比較して36百万円減少し、8億44百万円となりました。

負債につきましては、主に未払消費税等の増加、退職給付に係る負債の増加及び買掛金の減少により前連結会計年度末と比較して18百万円増加し、8億41百万円となりました。

純資産につきましては、剰余金の配当がありました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び非支配株主持分の増加により前連結会計年度末と比較して81百万円増加し、52億94百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月期の連結業績予想につきましては、2019年7月11日公表の連結業績予想値に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,345,449	4,539,054
受取手形及び売掛金	567,088	499,586
商品	4,679	1,556
仕掛品	69,515	107,946
貯蔵品	241	497
未収入金	67,827	29,845
その他	133,421	114,570
貸倒引当金	△33,696	△1,696
流動資産合計	5,154,527	5,291,361
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	20,025	20,811
機械及び装置(純額)	320,736	303,495
土地	12,400	12,400
その他(純額)	19,035	18,969
有形固定資産合計	372,197	355,676
無形固定資産		
のれん	41	—
ソフトウェア	325,829	299,457
その他	8,826	22,469
無形固定資産合計	334,697	321,927
投資その他の資産		
投資有価証券	58,340	55,148
差入保証金	72,842	74,258
繰延税金資産	39,248	34,205
その他	3,682	3,338
投資その他の資産合計	174,114	166,950
固定資産合計	881,008	844,554
資産合計	6,035,536	6,135,916

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	130,849	119,536
1年内返済予定の長期借入金	23,496	23,496
未払法人税等	52,628	29,507
未払消費税等	26,983	51,408
賞与引当金	—	11,176
役員賞与引当金	—	1,265
その他	258,976	289,170
流動負債合計	492,933	525,562
固定負債		
長期借入金	253,891	238,227
退職給付に係る負債	55,284	60,671
その他	20,035	16,617
固定負債合計	329,210	315,515
負債合計	822,144	841,077
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,108,017	1,108,017
資本剰余金	984,701	984,572
利益剰余金	2,938,832	2,894,494
自己株式	△117,120	—
株主資本合計	4,914,430	4,987,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,199	1,282
その他の包括利益累計額合計	1,199	1,282
新株予約権	4,378	4,078
非支配株主持分	293,383	302,393
純資産合計	5,213,391	5,294,838
負債純資産合計	6,035,536	6,135,916

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
売上高	2,406,159	2,619,147
売上原価	1,319,997	1,467,682
売上総利益	1,086,161	1,151,464
販売費及び一般管理費	1,007,688	959,183
営業利益	78,473	192,281
営業外収益		
受取利息	131	140
受取配当金	690	32
補助金収入	42,700	33,263
受取賃貸料	999	999
業務受託手数料	450	450
保険解約返戻金	4,975	—
受取和解金	—	4,704
その他	2,296	4,002
営業外収益合計	52,244	43,591
営業外費用		
支払利息	2,412	2,265
為替差損	10	4
支払手数料	265	286
その他	205	200
営業外費用合計	2,894	2,756
経常利益	127,822	233,115
特別利益		
固定資産売却益	31	453
投資有価証券売却益	390	6,606
特別利益合計	422	7,060
特別損失		
固定資産除却損	855	—
解約違約金	8,000	—
特別損失合計	8,855	—
税金等調整前四半期純利益	119,389	240,175
法人税、住民税及び事業税	52,018	59,208
法人税等調整額	15,990	5,006
法人税等合計	68,008	64,214
四半期純利益	51,380	175,961
非支配株主に帰属する四半期純利益	22,121	22,913
親会社株主に帰属する四半期純利益	29,259	153,047

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	51,380	175,961
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,254	83
その他の包括利益合計	△12,254	83
四半期包括利益	39,126	176,044
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,005	153,131
非支配株主に係る四半期包括利益	22,121	22,913

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年7月23日開催の取締役会に基づき、2019年7月31日付で、自己株式480,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ117,120千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が2,894,494千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年6月1日至2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	クリエイション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,337,365	1,068,793	2,406,159	—	2,406,159
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25,964	46,683	72,647	△72,647	—
計	1,363,330	1,115,476	2,478,807	△72,647	2,406,159
セグメント利益	367,264	107,562	474,826	△396,353	78,473

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△396,353千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	クリエイション 事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,536,956	1,082,190	2,619,147	—	2,619,147
セグメント間の内部売上高 又は振替高	66	30,091	30,158	△30,158	—
計	1,537,023	1,112,282	2,649,306	△30,158	2,619,147
セグメント利益	481,605	138,242	619,848	△427,567	192,281

(注) セグメント利益の調整額の主なものは、各事業セグメントに帰属しない管理部門等の一般管理費△427,567千円であります。

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。